

## 第 26 期第 3 四半期累計期間の業績のご報告 (2021 年 7 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

2022 年 5 月 吉日  
日本システムバンク株式会社  
代表取締役社長 野坂 信嘉

当第 3 四半期累計期間における経済環境は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さが見られます。先行きについては、感染対策に万全を期し、景気の持ち直しが期待される一方、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、下振れリスクや感染症の影響を十分注意する必要があると見込まれております。

駐車場業界におきましては、2021 年 7 月～9 月においては、緊急事態宣言の適用期間中の新型コロナウイルスの感染拡大の抑制を目的とした外出自粛の影響により駐車場利用者数が著しく減少し、極めて厳しい状況となりました。2021 年 10 月～12 月においては、全国的に売上の改善が見られました。2022 年 1 月～3 月においては、オミクロン株による感染が急増し、各種経済活動を自粛する動きが強まったことから、再び駐車場利用者数が減少しました。

このような状況の中、当社は「社員及び関係者の安全確保」という基本方針の下、売上原価及び販管費の低減並びに新規投資の縮小などを実施し、可能な限りの利益の確保に取り組んで参りました。

コインパーキング事業では、採算が悪化した駐車場の撤去及びコストの見直し、並びに駐車場の新規開設を抑制しました。

プロパティマネジメント事業では、コストの見直し及び不要不急の投資を控え、利益の確保に努めました。

以上の結果、当第 3 四半期累計期間における売上高は 4,243,928 千円となりました。

事業区別	金額	前年同期比
コインパーキング事業	4,142,757 千円	94%
プロパティマネジメント事業	97,016 千円	81%
その他	4,153 千円	98%
計	4,243,928 千円	94%